

仁泉会ニュース 第 46 巻 第 6 号

発行所
〒569-8686 高槻市大学町 2-7

電話 FAX
072-682-6166 072-682-6636

発行者 発行部数
河野 公一 6,100 部

URL
http://www.jinsenkai.net

大阪医科大学 仁泉会ニュース

“大阪医科大学関係者の皆様”へ

FELICE で フェリーチェ 理想の結婚

フェリーチェは、メディカル人材企業との提携を通じて、
医療の第一線で活躍の医師・歯科医師を中心にお迎えし、
理想の結婚をプロデュースすることを目的として
創設された会員制クラブです。
万全の個人情報管理と医療業界を熟知した専任コーディネーター
だからできる「洗練された出会い」をあなたに。

<成婚事例>

男性	女性
33歳 大阪医科大学 医師	27歳 神戸薬科大学 薬剤師
31歳 大阪市立大学 医師	28歳 京都府立医科大学 医師
34歳 慶應義塾大学 医師	26歳 神戸女学院大学 英語教師
36歳 神戸大学 医師	33歳 関西医科大学 医師
38歳 京都府立医科大学 医師	29歳 近畿大学 会社員
37歳 愛知医科大学 医師	31歳 同志社大学 客室乗務員
41歳 関西医科大学 医師	33歳 京都女子短期大学 会社員
38歳 大阪大学 医師	32歳 兵庫医科大学 医師
37歳 近畿大学 医師	29歳 大阪医科大学 医師

大阪医科大学関係者様 限定キャンペーン

詳しくはお問合せください。



フェリーチェは、個人情報保護を第一に、あえてオーソドックスなスタイルを守り、
医療業界を熟知した専任コーディネーターがご本人様のお人柄・ご要望をしっかりと把握し、
最適なお相手をご紹介します。

- 入会資格
- ◇男性25歳～50歳 医師、歯科医師
- ◇女性20歳～37歳 医師または短大・専門学校卒以上
- 男女ともに結婚をお考えの独身者の方
- ※上記条件を原則として、そのほか本クラブの独自の入会審査基準がございます。

詳しくはフリーダイヤル、またはホームページにて、フェリーチェのすべてがわかる資料をご請求ください。

☎ 0120-683-156 www.felice.cc

受付時間 / 10:00～20:00 水曜定休日

フェリーチェはおかげさまで **創立13周年** を迎えました。そして、約4000社ある事業者の中で「会員内容的確さ」「スタッフのサポート体制」など
11項目からなる「顧客満足度の高い会社」**2年連続 総合1位** (オリコン株式会社調べ)との評価をいただきました。
今後とも「真の顧客サービス」を目指し、皆さまのご結婚を全力でサポートさせていただきます。

無料 親御様向け説明会のご案内

- 開催日時：2015年11月10日(火)、12日(木)、13日(金)、17日(火)、19日(木)、20日(金)、26日(木)、27日(金)
12月1日(火)、3日(木)、10日(木)、11日(金)、15日(火)、17日(木)、18日(金)、22日(火) 各日14:00～
- ※他の日程での設定もございますので詳細はお問い合わせください。
- 会場：芦屋ラウンジ・銀座ラウンジ・横浜ラウンジ
- 専用ダイヤル：芦屋 0797-25-1076 / 銀座 03-6228-5720 / 横浜 045-264-4593

毎月1300件以上のお見合いをコーディネートしているプロフェッショナルがどんなご相談にもお応えします。

プライマリッジ株式会社
www.prime-marriage.com

結婚相手紹介サービス業認定資格より適正な
サービス事業者として認定付与を受けています。

JMIC
日本結婚相手紹介サービス協議会

個人情報管理・プライバシー保護には
細心の注意を払っています。

銀座ラウンジ 東京都中央区銀座6-4-1 東海堂銀座ビル4F
芦屋ラウンジ 兵庫県芦屋市美平町6-16 芦屋ファルファール4F
横浜ラウンジ 横浜市西区みなとみらい2-3-1 クイーンズタワーA4F
梅田ラウンジ 大阪府大阪市北区梅田1-11-4 大阪駅前第四ビル10F

学歌収録プロジェクト2015
学歌の音源が制作されました！

ロボットスーツ「HAL」
その可能性と未来。

〔高山右近 像〕
写真提供 / 西村 保先生 (学4期)



目次

P3	事業報告 学歌収録プロジェクト 2015 学歌の音源が制作されました！ 暁映ゆる東の（大阪医科大学校歌について）	仁泉会副理事長 安藤嗣彦 大阪医科大学内科学総合診療科担当専門教授 大阪医科大学グリーン部部长 浮村 聡
P6	校歌収録に参加して	
P7	グリーン部の皆さんから感想コメントをいただきました 学会報告	
P9	第 89 回日本消化器内視鏡学会総会開催 支部日より	中川義仁（学 43 期）
P11	京都仁泉会 音楽の夕べ 平成 27 年 8 月 30 日 京都ホテルオークラ	森本博子（学 24 期）
P12	第 6 回大阪医科大学卒業生同窓会ゴルフご案内	
P13	平成 27 年度仁泉会東大阪支部総会と懇親会（6 月小旅行）	三宅直子（学 28 期）
P14	ロボットスーツ「HAL」その可能性と未来 「株式会社 大阪医大サービス 國澤隆雄先生と大野博司技師長に聞きました」	
P23	エッセイ「ピタシな話（2）」	西村 保（学 4 期）
P24	リレーエッセイ	片岡晃哉（学 26 期）
P25	まんが 役員交代	東京ぼん太（学 31 期）
P26	会員著書 西川雄之助先生（学 8 期） 新聞切抜 奥田準二先生（学 33 期） 竹政伊知朗先生（学 42 期）	
P27	本部日より 会員計報	
P28	編集後記	
P29	お詫びと訂正 平成 28 年度 学 14 期（36 会）同窓会のお知らせ	

仁泉会大阪府連学術講演会のご案内

日 時：11 月 14 日（土）16:00～17:45

会 場：ホテルグランヴィア大阪

内 容：16:00-16:10 製品紹介

「選択的 SGLT2 阻害剤－2 型糖尿病治療剤－デベルザ錠」興和創薬株式会社

座長／みさき医院 院長 御前 治 先生

16:10-16:55 特別公演 I

『糖尿病と心血管疾患～血管糖尿病への新たな試み～』

岸田クリニック 院長 岸田 堅 先生（学 44 期）

17:00-17:45 特別公演 II

『夢の腫瘍選択的粒子線治療、BNCT』

大阪医科大学附属病院 先端医療開発部門がんセンター 特務教授 宮武 伸一 先生

※会終了後、情報交換の場をご用意しております

お問い合わせ 仁泉会事務局 TEL:072-682-6166 FAX:072-682-6636
e-mail:jimu@jinsenkai.net

事業報告 学歌収録プロジェクト 2015

学歌の音源が制作されました！

去る 9 月 23 日、高槻市摂津峡にあるカフェ「摂津峡 ZEAL（ザール）」にて
グリーン部部长浮村教授を中心としたプロジェクトメンバーによる学歌の収録が行われました。
安藤嗣彦先生による学歌の歴史や当日収録に参加した現役グリーン部の皆さんの感想など
当日の様子をお届けいたします。収録した音源は仁泉会ホームページで入手できます（「仁泉会」で検索）。

暁映ゆる東の
（大阪医科大学校歌について）

文責／仁泉会副理事長 安藤嗣彦

仁泉会の先生は、“暁映揺る東の 山紫に水白く”で始まる、大阪医科大学の校歌（学歌）は、
今迄に、口酸っぱくなるまでで歌った（歌わされた？）思い出があると思います。私も、昭和
40 年に、教養部一期生として入学しましたが、
早々にオリエンテーションやクラブ活動で楽譜
を見ないでも歌えるまで、何回もしごかれた記
憶が残っています。又、同時に“見よ 花撩乱
の春たけて”で始まる逍遥歌（一、二）もしつ
こく歌わされました。さすがに最近は口ずさん
だ事ありません。平成以降の入学生にも、逍
遥歌を歌わせる教育を指導しているかは定か
ではありませんが、校歌については、現在でも、
入学時に、歌える迄、指導しているようです。

仁泉会総会では、総会後の懇親会では、全員
で学歌を斉唱する事になっています。この際、
サッカー部の面々が壇上に上がり、音頭をとる
風習が現在も続いています。サッカー部はこ
とあるごとに学歌を歌って、その力を鼓舞する伝
統があるため、総会では、出席者の節回しを統
率する役目を担っていただいています。お亡く
なりになりましたが、第 10 期理事長の榎原敬
郎先生は、サッカー部出身で、校歌斉唱時には、
壇上の真ん中で、ひときわは大声で歌ってお
られました。今でも、在りし日の先生のお姿が目
に焼き付いています。

さて、校歌を斉唱しておりますと、学生時代
に同じ釜の飯を食べた、同級生やクラブの先輩

との思い出が走馬灯のように甦っていき、改めて、
母校への愛を育む機会となるのではないで
しょうか。我々理事会としましても、改めて、
校歌斉唱が同窓会活動の活性化並びに大学との
一体化を更に強固にするものとの思いを確信し
た次第であります。今後は、本部総会のみならず、
地方支部総会に於いても、校歌斉唱を切に
お願いするところであります。

処で、現在では、校歌斉唱時、楽譜なしで歌
える会員の先生は、多くありません。この為、
総会では、印刷した楽譜をその都度、お配りし
ております。しかしながら、地方支部総会では、
その場に楽譜が無いと、困難となります。この
対策として、仁泉会では、今回、校歌を CD と
して作成し、各支部にお配りする事になりました。
会場では、CD 専用のプレイヤーが必要と
なりますが、楽譜を見ずに大声を張り上げるの
は、いかがでしょうか？学歌収録に関しまし
ては、理事会で、プロに頼むのではなく、本学
のグリーンクラブの学生に依頼するのが望ましい
のではないかと結論に至りました。幸いにも、
仁泉会理事の上杉康夫放射線医学講師がグリー
部の出身で、部長の総合診療科専門教授の浮村
聡先生にお伺いを立てていただいた処、快く引
き受けていただける事となりました。収録は、
去る、9 月 23 日（祝日）に高槻の摂津峡ザ
ールにて行いましたが、グリーン部学生 18 名に加
え、浮村、上杉先生以外にも大勢の OB の先生
にもご協力いただきました。収録後、高槻の居
酒屋でささやかな懇親会を催し、私も参加させ
ていただきました。休日にも関わらず、ご協力
いただいた、グリーン部の学生諸君並びに OB の



収録に参加したグリーン部メンバーによる記念写真（浮村先生を囲んで）

先生には、同窓会より、改めて御礼申し上げます。

さて、会員の皆様は、校歌が、何時、どのような過程で作られたかご存知でしょうか。4年に1回発刊し、同窓生全員に配布しております名簿の冒頭に、校歌、学歌並びに逍遙歌が記載されています。所で、作詞の林久男、作曲の近藤義政、編曲の長井 斉とはどのような人物であったのかご存知でしょうか？ 大阪医科大学仁泉会 50 年史には校歌、逍遙歌のできた過程、作詞、作曲者等に加え、我が国初の 5 年生医学専門学校設立時の混乱した状況、時代的背景がこと細かく記載されています。これを読むと、当時の、先人の先生のご苦労や母校への熱き思いがひしひしと感じられます。我々後輩の会員は、先生方の大学創設時の意気込みをもう一度胸に刻む事が大切かと思われま。以下に、50 年史より“校舎完成、校歌、校旗出来る”に関する文章を記載いたします。

仁泉会 50 年史

第 3 回生入学、校舎完成 校歌国旗出来る

昭和 4 年（1929）4 月 10 日、第 3 回生入学する。人員 230 名。

5 月末に、解剖館、本館、守衛室等が完成した。
本館 鉄筋コンクリート建三階 1000 坪 32
解剖館 “ 286 坪

これに、既に完成して使用中の別館大講堂を加えて校舎が一応完成した。他に、昨秋御大典に使用した木造建物一棟（40 坪）を下附されたのに、恩賜館と命名して武道場にしたのと、門衛室倉庫も完工した。これと併行して、附属三島病院、看護学校を含む看護婦寄宿舎の建設工事が進められた。

校舎の完成につれて、生徒の間から「校歌を作れ」の声が上り、校友会代議員会で検討され、生徒から公募する事が決められた。集ったのは

二十数篇である。これを文科系教授で作られた「審査委員会」で審査したが、特別に優秀と決定するものがないとの結論の結果、委員長格の林久男教授に一任し、全（*同）教授は応募の各篇から文章を拾い集めて次の様な校歌（案）を校友会に示された。

校歌 林久男作詞

- | | | |
|----|--------------------------------------|---------------------------------------|
| 一、 | 暁映ゆる東の
天地こむる曙の
濃緑つづく松の辺に | 山紫に水白く
帳静かに明けゆけば
立つ学舎の影ををし |
| 二、 | 真理の力智の光
慕ひて辿る先賢の
高き使命を想ひては | 詔に副いて朝に夜に
杏林繁く道遠み
たぎるか若き胸の血よ |
| 三、 | それ寂寞の夜は更けて
孤灯の下に播く書も
小草の露の光にも | 北斗の星の冴ゆる時
三島の原に踏みしだく
造花の秘義の啓示あり |
| 四、 | 北安満山に春暮れて
彼方に霞む生駒山
夕日の西に沈む時 | 南にうねる大淀の
難波の浦はかげろひて
瞬きそむる指南星 |
| 五、 | 嗚呼南暝の空遠く
はた崑崙かゴビの原
消えゆく若き日ををしみ | かのアマゾンの岸の花
吾等の春は遠くとも
時の歩みの跡とめん |

この案について最終決定をする段階で、校友会側から「詔に副（*ソ）いて」を「仁の泉か」に変える意見が出された。「詔」当時は「教育勅語」を指すのであるが、天皇制や教育勅語は時代の変遷と共に変わる事もあり得る。それよりも「仁の泉」の思想は永遠性があり、より根本的であるとする説が有力となり、林教授もこれに賛成されて、自ら手書きされた原稿に訂正を加えられた。この原稿は貴重なものとして保存されていたが、昭和八年の紛争時に紛失した。

いづれにしても、満州事変から第二次世界大戦へと突入する直前の軍国主義下の日本で、純真な生徒の意志による選択の正しさのために五十年後今日も、否、永劫に唱いつがれる校歌と

なったのである。この「仁の泉」から校友会を仁泉会と改称したのはそれから少し後の事になる。

校歌の作曲についても近藤義政氏に依頼して、出来た曲をマンドリン部の伴奏で生徒全員に三階講堂で公表したが、軽快なマーチ調で「女学校の校歌」との評が多かったので、再度、全氏に依頼して「荘重」な現在の曲となった。

校歌に続いて校旗が発表された。これは突然の事で生徒はもとより学校関係者のほとんどが知らぬ間に、立派な校旗が完成していた。これは吉津理事長の独創であった。生徒一同講堂に集められ、理事長から説明を聞かされた。旗は上が赤、中央樺色（*かばいろ ヤマザクラの樹皮の色）、下は緑の三色旗で、櫻の花が配されている。

理事長の説明では、緑は海で、海のむこうの陸（樺色）の上に、日本の国威（赤）を宣揚するとの意味で、国の移民政策を推進して医師の海外発展を表徴したものであるとのことであった。又赤は動脈、緑は静脈、樺色は組織で、人体の構成を表す意味もあることが附加された。しかし一部の生徒の中には、校歌の場合と異なって、理事長の独断できめられ、又当時急速に活撥となりつつあった日本の軍国主義的な植民地政策に迎合するものであるとして、この校旗の決定に反対する主張もあって、その後この校旗の複製品が本館屋上の塔の上のポールに掲揚されるや、暗夜ひそかに持ち去られて、以後今日まで、掲揚されたことはない。校旗はその後、保管されて今日では大学内の儀式の時に飾られている。

仁泉会五十年史 22 頁～23 頁から抜粋

校歌収録に参加して

文責／大阪医科大学内科学総合診療科担当専門教授
大阪医科大学グリー部部長 浮村 聡

仁泉会から校歌収録のお話を頂き、グリー部の部長として喜んで協力させて頂きたいとお返事したのが平成 27 年 6 月頃だったと思います。それから事務局の天野氏には、楽譜の手配、収録場所の選定、収録スタッフの手配などにご尽力いただき、ようやく 9 月 23 日に収録することが出来ました。何分アマチュアの集まりですので音楽的には至らない点は多くあるかとは思いますが、20 数名が集中して収録に臨めたのではないかと自負しています。また懇親会に参加いただいた安藤先生におかれましては、今回の収録に関し色々ご配慮いただきまして本当に有難うございました。グリー部員とグリー部OBを代表してお礼申し上げます。

当日懇親会の場で、安藤先生から校歌に関するエピソードとして、仁の泉の一節が歌詞とし

て採用されたいきさつを教えてください、大阪医科大学の先輩方の先見の明に対し、感銘を受けました。医学で言えば、いくつかの有名な人名の入った病名の中には、その人物がナチスと関係が深かったため、国際的には使用してはいけない病名となっているものがいくつかあることを最近になって知りました。これと同じような状況が第二次大戦直後わが母校の校歌にも生じかねなかったということであり、それを先人が回避されたということだと思います。仁の泉というまさに普遍性のある歌詞は 2 番の歌詞となっています。今回の収録ではこれまでの慣習を考慮し、1 番から 5 番まで、1、2、5 番、1、3、5 番の 3 つのバージョンを作成していますが、今後は日本各地の仁泉会の支部会では是非とも 2 番を含んだバージョンで校歌を歌って頂きたいと考えています。仁泉会の会員の先生方が、同窓生の世代を超えた親睦を深めるため、今後この校歌を色々な場面で歌い継いで頂きたいと考えます。



リハーサル風景



上杉先生と男性部員達



ピアノ収録風景



歌詞を細かくチェック！

グリー部の皆さんからの感想コメントをいただきました

学部 57 期 浅石 健

個々の力も大事ですが、パート内、パート間の協調がうまくかみ合った、素晴らしいレコーディングになったと思います。これからも学歌のすばらしさを発信することの楽しみを感じながら、現役の皆さんには頑張ってもらいたいと思います。

学部 59 期 吉岡裕人

今回、仁泉会理事の上杉先生にお誘いいただき、学歌収録に参加致しました。始めは学生部員の若さに圧倒されましたが、交流を深めるにつれ緊張も緩くなり無事録音できました。久方振りの合唱のため満足するには至りませんでしたが、現状では最高のものができた、と考えております。今後多くの方に聞いていただければ幸いです。最後になりましたが、仁泉会の皆様、浮村先生上杉先生をはじめとするグリークラブ OB の先生方部員の皆さんに厚く御礼申し上げます。

学部 66 期 (医学部 5 回生) 石郷岡 岳

本日は非常に貴重な経験をすることができ、大変良い思い出とすることができました。Bass は人数が少なく、大変ではありましたが、レコーディングに携わることができたことを嬉しく思います。誠にありがとうございました。

学部 66 期 (医学部 5 回生) 福田弥彦

普段、現役部員で数多く歌ってきた学歌ですが、今日 OB・OG の先生方といつもと違う場所で歌わせて頂いて歌詞にこめられた意味や声の出し方など、色々勉強になりました。このような貴重な場に呼んで頂き、本当にありがとうございました。

学部 67 期 (医学部 4 回生) 應儀達徳

本日は学歌の収録に参加させていただき、とても勉強になりました。普段演奏会などに向けて、歌を歌わせていただいておりますが、本校の学歌を我々が glee club で収録させていただき、良い経験になりました。私はいつもは歌わない、3 番の歌詞「造化の秘儀」にとっても心を込めて歌いました。医師として、どんなときも場を改善させる工夫を意味する言葉だと考えております。大阪医科大学について、一度深く考えられる良い機会になりました。本当にありがとうございました。

学部 68 期 (医学部 3 回生) 志水 和麻

今回初めて 1 番から 5 番まで歌わせていただいて、改めて歌詞を通して見てみると、豊かな自然の風景が描かれていることに驚かされました。これからも、曲のイメージを大切にしながら、学歌を歌っていききたいと思います。

学部 68 期 (医学部 3 回生) 澁谷聖志

いつもは目の前の聴衆のためだけに歌う我々ですが、今回は不特定多数の方に聞いていただく録音ということで、重圧も感じましたが光栄でした。貴重な機会をありがとうございました。粗があっても見逃してください。

看護学部 3 回生 木村奈那美

今回このような機会をいただき、改めて歌詞の意味を考えるきっかけとなりました。また、この収録した歌がこれから様々な場面で使われることと大変うれしく思います。ありがとうございました。

看護学部 3 回生 高橋美樹

学歌収録という大阪医科大学の歴史に残る貴重な機会に参加できたことを心から光栄に思っています。普段あまり共に合唱させて頂くことのない OB・OG の先生方との共演ということもあり、二重の意味で緊張しましたが、無事に収録を終えることができ、達成感に浸っているところです。グリー部の部員として合唱を作り上げていくことのできる時間はもうあまり長く残っていないのですが、今回収録を通して得た自身の課題に向きあっていけたらと思っています。ありがとうございました。

学部 68 期 (医学部 3 回生) 夏山幸一郎

4 番の歌詞の最後にある「指南星」という聞きなれない単語に「？」となっていたところ、部長の浮村先生にご解説いただきました。曰く、昭和初期に海外への出稼ぎ労働者のために建学されたのが本学であり、南米の地で卒業生が見るであろう南十字星を歌いこんだものであるとのことでした。このように建学の精神が所々に垣間見える歌詞だったのだなあと、今更ながら再発見できて嬉しかったです。このような機会を作っていただき、本当にありがとうございました。

看護学部 3 回生 西川真央

普段は学歌を練習する機会が少なく、このように多くの人が集まって学歌を歌える機会をいただき嬉しいです。ありがとうございました。

看護学部 3 回生 矢野一江

今回このような貴重な機会を頂き、ありがとうございました。歌詞の意味を改めて考えさせられると同時に、大阪医科大学の伝統を感じるひとときとなりました。この伝統が次の世代に引き継がれていくための力添えが少しでもできれば幸いです。

学部 67 期 (医学部 2 回生) 今西涼華

山の上のおしゃれなカフェで歌うような機会はそれほどなく、新鮮な気持ちで歌うことができました。課題はまだありますが、精進していきたいと思います。本日は本当にありがとうございました。

看護学部 2 回生 上田実和

今回学歌収録は今後も使われるということで、とても緊張しましたが、OB・OG の先生方と一緒に歌うという機会はあまりないので、とても貴重な時間を過ごすことができました。今後もこのような機会があれば良いなと思いました。

看護学部 67 期 (医学部 2 回生) 武田悠莉子

今回の収録では、「私達が歌った学歌がこれから公の場で使われ続ける」ということで、非常に緊張しましたが、精一杯心を込めて歌いました。グリークラブでは、入学式や卒業式で学歌を歌いますが、なかなか自分達の歌声を聞く機会がないので、とても良い経験になったと思います。このような機会を作ってくださった仁泉会の皆様、一緒に歌って下さった浮村先生、上杉先生をはじめとするグリークラブOB・OGの皆様に厚く御礼申し上げます。

学部 67 期 (医学部 2 回生) 千原拓也

歴史ある学歌の収録に参加させていただいたことは大変光栄なことであり、このような機会を作っていただいた仁泉会の方々には感謝の気持ちでいっぱいです。この先学歌を聞くたびに自分の声もこの中に入っていると思い、誇りを持っていきます。

学部 67 期 (医学部 2 回生) 平井直志

まず始めに、このような会を開いていただいた仁泉会の方々に感謝を申し上げます。伝統ある学歌の収録ということで緊張しましたが、OB・OG の先生方との合同合唱は楽しく、収録後の懇親会も縦のつながりを深めることもでき、ありがたく思います。



安藤嗣彦副理事長

看護学部 1 回生 市川晴那

今回学歌収録に参加させていただいて、普段一緒に歌うことのない卒業された方々と歌うことができたり、これから先使われていくものに自分の声が入っていることに驚きや嬉しさなどあり、貴重な体験をさせていただきました。本当のことを言うと、学歌は入学式の時に聞いて、それ以降で歌うことがあるとは思っていませんでした。そのため、入学式の時も聞き流す程度だったので、今回の収録会で歌詞の意味を知ることができ、学歌を作った人達の考えやその意志を受けつごうとしている人達の考えも知ることができてよかったです。そして、今回の学歌収録を企画し実行して下さいました方々に感謝し、これを機にまだ自分が苦手としているところや今回できなかったことが、いつかできるように精進していこうと思います。

看護学部 1 回生 白井恵子

今回、学歌収録に参加させて頂いて、非常に良い経験を積ませていただいたと思いました。学歌には色々な深い意味が込められているということを知って、皆さんで気持ち込めて歴史に残る収録ができて嬉しかったです。この経験を生かして、これからも一層精進していきたいと思いました。

看護学部 1 回生 嶋田恵理花

学歌の収録という貴重な機会に参加させていただき、ありがとうございました。歴史に残る事業ということで、始めは緊張していましたが、温かい雰囲気の中、楽しく歌うことができました。今回の経験を踏まえて、これからも精進していきたいと思います。

看護学部 1 回生 村越菜生

何度も学歌を歌うことによって自分の在籍している「大阪医科大学」の学歌を十分に堪能することができました。このような機会を与えて下さった仁泉会の皆様に感謝しています。



懇親会にて

学会報告

第 89 回日本消化器内視鏡学会 総会開催

文責 / 中川義仁 (藤田保健衛生大学消化管内科 学43期)

藤田保健衛生大学医学部消化管内科教授の平田一郎先生(大阪医科大学・学部24期卒)が、先日、第89回日本消化器内視鏡学会総会を開催されましたので御報告いたします。

総会は2015年5月29日～31日まで名古屋市金山の名古屋国際会議場で開催されました。メインテーマは「内視鏡が切り拓く明日の医療 Endoscopy Advancing Medicine into the Future」でした。

これまでの総会では、会長の先生の好み色が濃く反映され、テーマは名ばかりで、ともすれば主題の疾患や領域に偏りが見られる傾向が多かったように思います。また、学会が名古屋で行われ、東京・横浜や大阪・京都・神戸などと離れていることから、演題・参加者集めに苦勞するのではとの懸念もありました。しかしながら平田先生は、大学、一般病院、開業の先生、研究志向の強い先生や臨床志向の強い先生、内科や外科の先生といった、いかなる立場の先生も満足できるような総会を行い未来に向けて明確なビジョンを示すことが重要であると考えられ、バランスのとれた主題を設定されました。さらに米国消化器内視鏡学会と欧州内視鏡学会の会長をはじめとした欧米トップの先生のみならずアジアの消



平田先生の総会開会の挨拶です。

化器内視鏡医も招聘し、国際性豊かな学会となるようにプログラムを作成されました。よって演題数は1514題と非常に多くの先生方に日頃の成果をご発表いただきました。また、平田先生のお人柄の様に天候にも恵まれ、学会参加者6733名と春の消化器内視鏡学会総会の中でも2番目に多い数の先生方に御出席いただき、盛会裡に行うことが出来ました。大阪医大および仁泉会の多数の先生方にも御参集いただきました。この場を借りて御礼申し上げます。

さて、平田先生は会長に指名されてから、約2年半に渡り準備を進められてこられました。筆者も事務局のメンバーとして総会の準備に初めから参加させていただきました。平田先生は2004年5月の第67回日本消化器内視鏡学会総会(会長:勝健一先生)の事務局長をされた経験もあって、筆者が思い至らない細やかな所まで配慮されておられました。ここで特に印象に残っているエピソードを2つほど披露させていただきます。今回の学会運営を委託した業者のミスが多く(日本全国に名の通っている業者なのですが…)、準備や運営の大半が我々の負担となりました。並の会長の先生であれば運営が穴だらけになってひんしゅくを買うか、雑務を「これも良い経験になるから、君たちがやりなさい。」と教室員に丸投げして教室員の臨床・研究・日常生活のすべてを犠牲にさせかねない事態となるころでした。しかし平田先生は自ら準備の先頭に立たれ、大げさでも無く一時は過労死を心配しなければならぬほどの仕事を丁寧にこなしておられました。総会直前の準備会合は

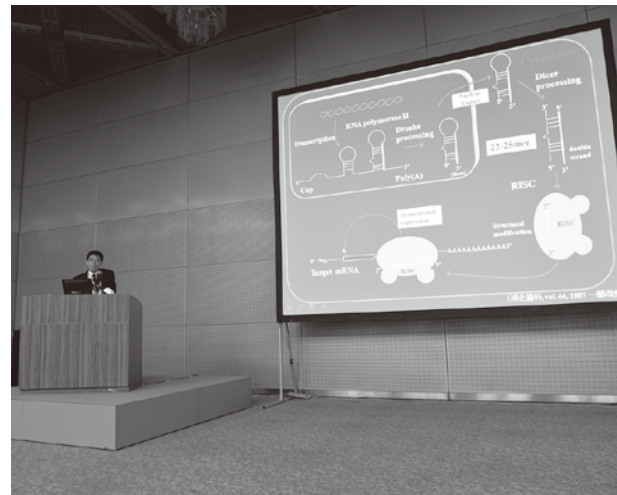


仁泉会の先生方にも多数お集まりいただきました。

連日深夜に及び、鬼気迫る物がありました。また、学会運営費用に関しては、藤田保健衛生大学消化管内科の同門会や関係医師、また関連病院などからの寄付は迷惑をかけてはいけないと丁重に断られ、その代わり以前より習慣的に行われていたレディスプログラム（限られたメンバーの同伴者観光ツアー）や海外ドクターのための配偶者同伴ツアーなどの無駄な催しを廃止され、その費用を参加いただいた先生方全員に還元するよう配慮されました。その結果、内視鏡学会本部のみならず他学の先生方からも大変御好評をいただきました。中には「これだけやったら赤字になると思うのだけど大丈夫？」と心配してくださる先生もおられたほどのおもてなしにあふれた総会となりました。まさに平田先生の仁の気持ちが泉のようにわき上がってくるような総会であったと思います。

今総会を終えて、ただ一つだけ残念に思ったことがあります。それはこの総会が大阪医科大学ではなく藤田保健衛生大学消化管内科として行われたということです。大阪医大・仁泉会の医師で、このような素晴らしい平田先生の準備・運営の多くを見せていただくこ

とが出来たのは筆者一人だけでした。またこの総会を通じて、多様な大学出身者で構成されている医局員が、少ない人数で一致団結する姿は感動的でした。当時を振り返ると私自身も体力的・精神的にかなり追い込まれていましたが、今となっては得がたい経験・勉強をさせていただき、感謝の気持ちで一杯です。この気持ちや経験を他の大阪医大・仁泉会の先生方にも味わっていただけなかったのがただ心残りです。



筆者も学会運営のみならず主題発表や司会を担当させていただきました。



総会終了直後の教室員集合写真です。

支部だより ●●●

京都仁泉会 音楽の夕べ 平成 27 年 8 月 30 日 京都ホテルオークラ

文責／森本博子（学 24 期）

夏の京都仁泉会の恒例行事の音楽の夕べが今年も京都ホテルオークラで 8 月最終日曜日に開催されました。

今年は新進のマリンバ奏者の大森香奈さんによるマリンバコンサートでした。大阪音楽大学、同大学大学院を終了後、ドイツ、イタリアに留学され、イタリア国際打楽器コンクールでは第一位を獲得。帰国後はザ・カレッジ・オペラハウス管弦楽団、大阪フィルハーモニー交響楽団などと協演。つい最近、3 枚目のソロ・アルバムをリリースされたところです。

ステージにおかれた大きなマリンバの前に登場した大森香奈さんはとても小柄なチャーミングな女性でした。ところがその演奏はとてもダイナミックでした。曲の間に曲目の解説、マリンバの楽器の紹介ではかわいい声でメロディを口ずさんだり、その外見の印象と演奏とのアン

バランスがほほえましく感じられました。

演奏曲目はタンゴ、シャンソン、クラシック、彼女のためにユーゴスラビアの作曲家が作曲したバルカン半島の民族音楽を取り入れた曲、さらに、日本の曲からは‘さとうきび畑’、‘川の流れのように’など。そして‘真っ赤な太陽’、‘情熱大陸’ではマリンバの前においたシンバル、後ろに置いた太鼓は足でレバーを踏んで鳴らして迫力満点でした。最後にアンコールの呼び声に応じて‘見上げてごらん 夜の星を’をしっとりと聴かせてくださいました。マリンバの柔らかい響きにところが癒されました。

コンサートのあとは平井博先生の乾杯の発声で宴が始まり、京都ホテルオークラのフルコースディナーを味わいました。今年は春まで学長を務められた竹中洋先生ご夫妻が出席され、その前任の島田真久先生ご夫妻と歴代の学長経験者がそろわれ、一層にぎやかになりました。今回はご夫妻で参加された方も多く、家族も一緒に来られた方もあって華やかな会となりました。年に一回、この会で会えるのを楽しみにしている方も多く、年々参加者は増えつつあります。話はなかなか尽きませんでしたが、来年の 8 月最終日曜に再会を約束してお開きとなりました。



会に華を添えてくださった大森香奈さん



参加者：中村 昭夫妻（学2期）平井 博夫妻（学4期）町塚 昭（学8期）竹内邦夫夫妻（学10期）
内田 實夫妻（学12期）太田 稔（学12期）島田真久夫妻（学14期）今村喜久子（学17期）
竹内宏一（学18期）奥村正治夫妻（学20期）上原春男（学21期）富岡 曄（学22期）
丸尾 馨夫妻（学22期）梶野興三夫妻（学23期）竹中 洋夫妻（学23期）西本 孝夫妻（学23期）
森本博子と友人（学24期）野田春夫（学25期）松本恒司夫妻（学26期）水谷 均夫妻（学26期）
曾我部俊大（学27期）塩見聡史夫妻と家族（学44期）村上純一夫妻（学54期）

第 6 回大阪医科大学卒業生同窓会ゴルフご案内

晩秋の候 先生にはますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、例年通り下記の要領で同窓会ゴルフを開催致しますので、是非ご参加ください。

記

日 時：11月15日（日）

会 場：小野グランドカントリーNEWコース

兵庫県小野市中谷町1413 電話 0794-67-1500

時 間：9時03分スタート

人 数：4組

参加料：3000円

締 切：11月1日

申し込み先：FAX でお願ひします。

小山武俊（学7期） FAX 06-6371-1243

田中 陽（学11期） FAX 0859-68-3562

中埜 肇（学13期） FAX 06-6833-1748

支部だより●●●

平成 27 年度仁泉会東大阪支部総会 と懇親会（6月小旅行）

文責／三宅直子（学28期）

仁泉会東大阪支部恒例の支部総会と小旅行が、6月14日（日）京都烏丸駅近くの京料理「木乃婦（きのぶ）」にて開催されました。毎年6月の日曜日のお昼に決まっていますが、不思議に梅雨の合間の暑くもなく雨も降らず緑の爽やかな天候に恵まれます。

京都らしい建物の入り口から奥に行き、2階のお部屋に通されると寺院の屋根や大きな木に見える部屋でいつもの顔なじみの先生方にお会いし、気分が和みます。

この会は会員および配偶者は無料、その他の家族は五千円という事で、奥様方も来られるので私も久しぶりに先生方や奥様方とお会いするのが楽しみです。今年は15名集まり、東大阪支部長の大西洋一郎先生の司会進行のもと、仁泉会大阪府連会長の佐藤公彦先生より仁泉会総会の報告がありました。まず学長選挙について

ですが、大槻勝紀教授に決定したとのことでした。次に高槻中学校・高等学校との法人合併のこと、大学院看護学研究科設置と新保育所完成、さらに中央手術棟のこと、それから新生病院が大阪医科大学三島南病院として7月から附属病院になることが報告されました。

その後、今年お亡くなりになった三田稔先生に黙祷を捧げた後、藤本 蕃先生の乾杯のご発声で懇親会が始まりました。毎年京都らしいお料理が楽しみなのですが、今年のお料理はまた格別で見た目も美しく、味も素晴らしいものでした。京都の地元の人々に美味しいお店としてよく知られているとのこと。佐藤公彦先生は手術を受けられたそうですが、経過が良好でお元気そうに食べておられました。もちろんおしゃべりも健在です。少しスマートになっておられ、ちょうど良い恰幅でした。恒川恵治先生は相変わらずお話が楽しく陽気で、つついこちらも引き込まれてしまいます。いつも思うのですが、年が離れていても同窓生というだけで何か信頼のあるつながりがあり、良いものだと感じます。東大阪支部の皆様、来年もぜひ多くのご参加お待ちしております。どこへ行くのか今からとても楽しみです。



出席者（敬称略） 藤本 蕃（学10期）佐藤公彦（学12期）ご家族 金城武忠（学16期）ご夫妻 恒川恵治（学17期）ご夫妻 塩路清一（学20期）大西洋一郎（学25期）ご夫妻 大西敦子（学40期）三宅裕治（学28期）三宅優子（学60期）三宅直子（学28期）家族

ロボットスーツ「HAL」 その可能性と未来

気になる
あの場所
あの人に
編集部が
ジャストミート!

株式会社大阪医大サービス

國澤隆雄代表取締役社長と 大野博司技師長に聞きました

今回、編集部がお訪ねしたのは世界初の技術を使ったロボットスーツ HAL® (以下 HAL) を開発している CYBERDYNE 社と業務提携を行い、HAL の医療・介護などの分野でのさらなる普及を目指し協力している株式会社大阪医大サービスの代表取締役社長であり大阪医大の前理事長の國澤隆雄先生と母校リハビリテーション科の大野博司技師長 (大阪医大サービス兼務) です。さらに、大阪医大サービスと連携し HAL の発信拠点となるロボリハセンターを開設した永寿ケアセンターの施設長である石田雅俊先生 (学 20) にもお話をお聞きしましたのでご紹介致します。

—まず大阪医大サービスとはどんな会社なのでしょう？

國澤 大阪医科大学の100%出資子会社として、大学教職員の福利厚生といった事業を担うべく設立されました。前身は西泉という会社でしたが、私が代表になりましてから現在の社名に変更致しました。

大学というのは公益的な法人で、国の補助金も一部ですけれども入っています。教養豊かな世界に通用する医師を育成し、社会に貢献することが本学の本来のミッションですが、それを支えるためには教職員の福祉や福利厚生といった事業が大事になります。しかし一方で、私立大学ですので財源確保の自助努力を求められています。植木理事長が大学法人の財政基盤の拡充にご尽力されておられますが、それを補助するのが当社です。収益を上げそれを大学に寄付していく、そういう立場で現在に至っております。仁泉会も奨学寄付などを大学に行われていたと伺っていますが、当社もこれまでに約4億円を大学に還元しています。おかげさまで当初の目的はある程度達成出来ていると考えてお

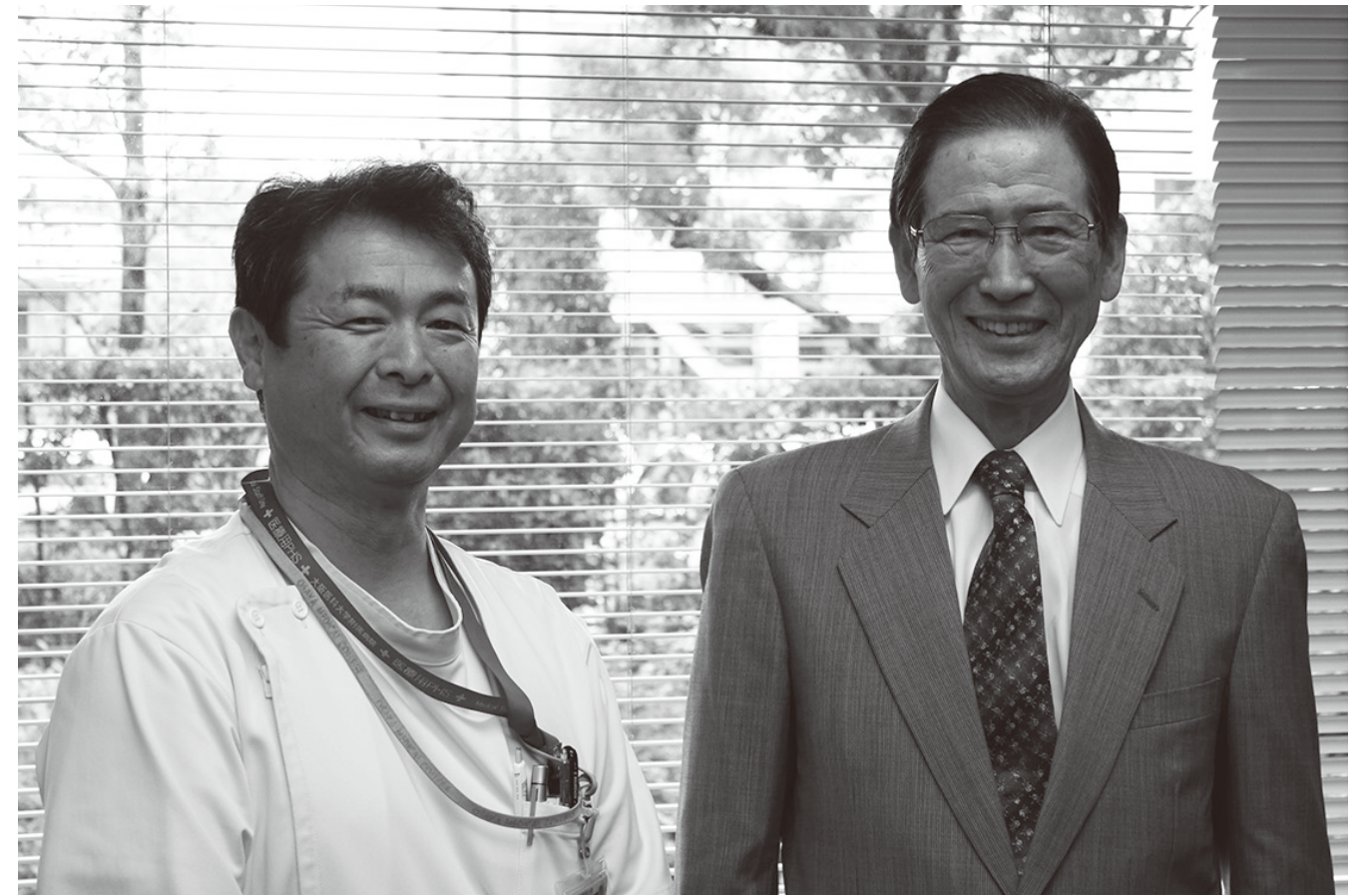
りますので、今後はもう一歩出て、大阪医科大学の子会社として地域社会のためにも寄与することを目指しております。そうすることによって大阪医大のブランド力が上がる。それが今後の大阪医大サービスの進むべき道と思っています。

—具体的な収益はどういった事業からなされているのですか？

國澤 いくつかありますけれども、大きな柱は院内にあるコンビニ事業です。患者様やお見舞いのご家族はもちろん、教職員のために作りました。そのほか、医療売店、保険、求人支援、学生や教職員のマンションや住宅の斡旋をしています。まあ、医療以外で本学にニーズのある事を全部掘り起こして事業にしております。

—そこに新たにロボットスーツ事業が加わるといことですね。どういったことをされるのでしょうか？

國澤 HAL の普及を通じ地域社会のために寄



國澤隆雄先生 (右) と大野博司技師長 (左)

与することを目指し、HALを開発製造販売している CYBERDYNE 社と業務提携を結び販売取次業務を行うことにしました。この販売取次業務を行うのは医療機関としては大阪医大だけです。あくまで大阪医大サービスとして導入していることが大きいですね。

大野 現在 HAL には、大きく分けて障害のある方の歩行などを補助する下肢タイプと、介護現場や工場などに導入されている腰の負荷を低減する腰タイプがありますが、適用や使用方法などが皆様に十分に紹介されていないのが実情です。大阪医大サービスを通じ、HAL の素晴らしさを、多くの病院・施設・企業の方々にご紹介できればと考えています。

—ロボットスーツ事業をはじめられた経緯とそれを広める事が社会貢献と考えられる理由はなんでしょうか？

國澤 ご紹介しているロボットスーツは、サイボーグ型ロボット「HAL (ハル)」と言い、筑波大学の山海嘉之教授が開発された世界初のもので、とある研究会で山海教授にお会いしてお話をお聞きする機会を得たのがきっかけで、それから情報を集めるようになりました。

これまでのロボットは、スイッチを入れ人が動いてきましたが、HAL は、装着者が脳で考えた通りの動きをアシストするロボットです。しかもあらかじめインプットされた動作プログラムに基づいてアシストを行う能力もある最先端の技術です。脳から出る信号が、脊髄を通過して筋・皮膚まで送られてきます。それをセンサーが感知するという原理です。止まれと考えると同時に止まるんです。これは本当に大したものです。

実際に HAL を初めて見た時、自分も使ってみました。率直にこれは間違いなく我が国の医療だけではなく、人をも変えるものだと感じました。人に笑顔を与える器具だと。

超高齢化社会に突入した我が国では、2013 年の男性の平均寿命は 80 歳で、健康寿命が 71 歳で 9 歳の差があり、女性は平均寿命が 87 歳で、健康寿命が 74 歳と 13 歳の差があります。この差を縮め、生きている間は健康であって欲しい、そのためにこの HAL が非常に良い助けになるという確信を得ました。人手不足と言われて久しい介護者の負担軽減にも繋がるでしょう。

しかし、残念ながらまだまだ HAL は社会的に十分な普及がなされていなかった。そこで、既にリハビリ治療に取り入れていた大野技師長に相談し、良い物を社会に広めていくことを大阪医大サービスとしてやろうと、それで社会貢献をするんだという考えから、大学法人や病院にもご理解を頂き、今年の 4 月からスタート致しました。

－他大学で導入されているところはあるのですか？

大野 筑波大学や福岡大学で HAL 下肢タイプが臨床に導入されていると聞いています。徐々に増えては来ていますが、全国的にはまだ約 170 の病院への導入に留まっています。大阪医大は 2 年前の平成 25 年から HAL 下肢タイプをリハビリテーション科に導入して頂き、その素晴らしさを体感させて頂きました。HAL が普及することで、日本のリハビリは大きく変わると考えています。

－現在の反響はいかがですか？

大野 HAL には、大きく分けて歩行などを補助する患者が使用する下肢タイプと施設や企業のスタッフが使用し腰の負荷を低減する腰タイプなどがあります。大阪医大サービスでは、平成 27 年 5 月に施設や企業の方々を対象とした腰タイプの HAL の体験会を実施し、NHK や朝日新聞などのメディアで紹介された事もあり、た

くさんの問い合わせがあります。全国での HAL 導入実績は、下肢タイプは 400 台、腰タイプで 350 台程度導入されていると伺っています。大阪医大サービスも老健施設や企業に導入させて頂いています。また、HAL を広めるモデル事業として CYBERDYNE 社と大阪医大サービス、永寿会福祉会とが連携し平成 27 年 7 月に永寿ケアセンター内に福祉分野では日本初のロボリハセンターが開設されました。

－大阪医大サービスか永寿ケアセンターへお聞きすると HAL が見られるということですね。

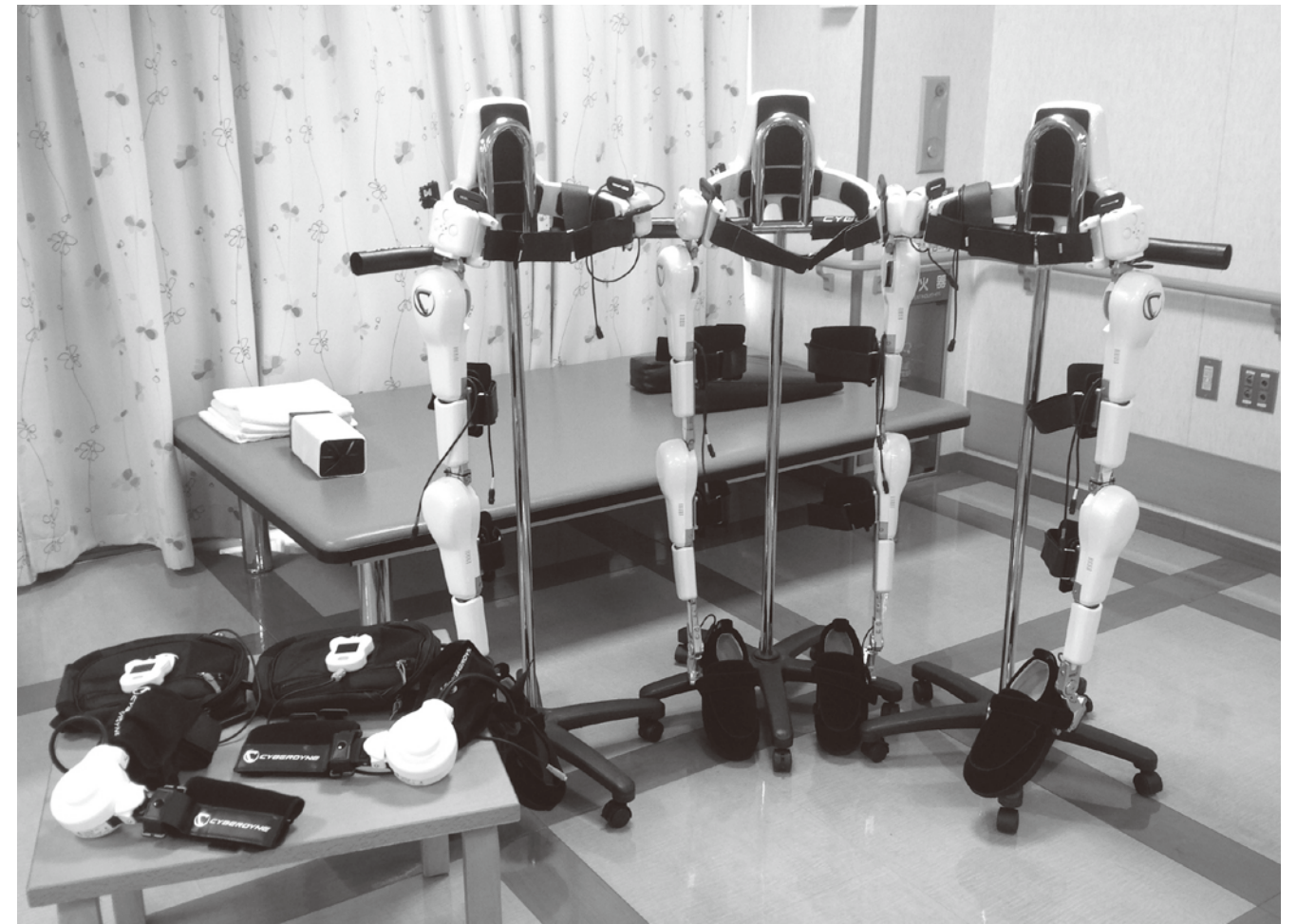
大野 永寿ケアセンターでは、実際 HAL を利用している現場を見学できる体制が整っています。大阪医大サービスでは、多くの方々に HAL を体験して頂きたいと体験会を企画・実施しています。近いうちに、仁泉会の先生方への体験会を、大阪医大で開催する予定です。

－HAL の性能といますか、具体的な機能を教えてください。

大野 腰タイプは、腰への負荷を最大 40% くらい低減されるように設計されており、動力はモーターですから何回も反復使用できます。ただ、過剰に実施すると HAL を装着していない手足に負担がきますので、決してどんどん重いものを持つということではありません。日頃の業務の負担を減らすという目的でご利用頂いています。

HAL の原理は、脳から発する生体電位信号を皮膚表面で読み取りコンピューター処理してモーターに反映させる世界最先端技術です。その技術が下肢と腰に応用されています。今後は義足にも応用される予定と伺っています。

－服の上からでも読み取るのですか？



各種 HAL 左より単関節、下肢タイプ（右脚・両脚・左脚）

大野 直接皮膚の上に電極をつけるという形です。

－基本的な話に戻ってしまうのですが、脳から出る信号というのは人によって強弱などはあるのですか？

大野 病気によって信号が半減したりとか十分に発しなくなったりするなどあります。

國澤 HAL は皮膚表面に漏れ出る微弱な生体電位信号を読み取り、適切な信号になるよう調整・補完してパワーユニットを制御し、身体を動かしていく。これが HAL の大きな特長なんです。

大野 センサー技術がすごく長けているので、臨床において一見筋が活動していないと思える場合も、HAL が信号を感じし増幅させる性能

を有しています。結果、今まで歩けなかった方が歩ける可能性があります。余談になりますが、ある研修会で HAL を筋力増強目的としたトレーニング道具として使えないかとの質問に対し、HAL のモーターを補助機能から抵抗機能に変えれば可能かもしれないとの返答でした。まさしく、漫画『巨人の星』の大リーグ養成ギプスですね（笑）。

－リハビリの現場での改善例というのはありますか？

大野 脳梗塞や脊髄損傷、神経・筋疾患に HAL を用いています。症例によって効果は異なりますが、歩行スピードのアップや歩容の改善などの好結果を得、学会で報告しています。また、他施設において長年歩行が困難であった方が、HAL を用いリハビリを行うことで杖歩行が可能となった報告もあります。

現在、個々の状況を踏まえ試行錯誤しながら HAL を用いていますが、今後はそれをマニュアル化していった教科書のような物を作りたいですね。CYBERDYNE 社と協力しそのデータを集めています。

國澤 ですから CYBERDYNE 社へのフィードバックは定期的に行っています。

—具体的に今までどんなフィードバックをされたのですか？

大野 例えば、腰タイプにおいて、介護の分野ではお風呂での使用の要望が多く、HAL は湿度に弱いので改良をお願いしています。また、作業の分野では、夏場汗などにより電極が剥がれるケースがあり、電極の改良を依頼し新たな電極の開発がなされています。

國澤 新しい技術なので課題も当然ございます。現場の要望も伝えて改良していくという形で一緒にやっております。私達はそういう橋渡しをしております。まだまだ走り出したばかりというイメージですね。

大野 HAL の研究は、山海先生の下 20 年以上前から行われていますが、福祉用下肢タイプは 2010 年に現行モデルのレンタルを開始、腰タイプの実用化は最近です。

—となると、現状の HAL からまたさらに進化するということですか？

大野 山海先生からのお話では、まだまだ改良していくとのこと。ですから販売ではなくレンタルとのこと。

—ちなみに HAL はおいくらするのですか？

タイプおよびレンタル契約期間でレンタル料は違ってきます。3 年契約での月のレンタル料は、下肢タイプ（両脚）で約 17 万円です。腰タイプは約 7～8 万円です。現在日本での保険適用がありません。そこで CYBERDYNE 社と大阪医大サービスと永寿会福祉会とで協力し、福祉分野へのレンタルを開始しました。これなら施設の負担も少なく多くの施設でご利用頂けるかと考えています。

國澤 ドイツでは既に普及しており、公的労災保険の適用にもなっています。日本も何らかの制度が必要かと考えます。

—(カタログの写真を見て) HAL 腰タイプはそれにしても小さいですね！

大野 重さは 3 キロくらいです。まだまだ小さく軽くする方向で話が出ています。現在、HAL は主に下肢タイプ、単関節タイプ、腰タイプがありますが、義足の開発が進んでおります。試作品は、滑らかに階段昇降ができていました。

國澤 際限なくどこまでも広がりますから夢がありますよね。

大野 大阪大学で脊髄神経移植を受けた患者に対し、HAL を使ってリハビリを行ったケースもあるようです。今後、脊髄損傷患者への再生医療が進む中、HAL 下肢タイプは歩行獲得に必要な不可欠のツールになると考えます。

—HAL の寿命というのはあるんですか？

國澤 メンテナンスや部品の入れ替えを行いますので、相当期間使えると聞いています。

大野 性能が上がってきていますから、部品交

換も殆どありません。

—医療用と福祉用では具体的にどう違うのでしょうか？

大野 HAL 下肢タイプ医療用は、ヨーロッパでは医療機器として認められドイツでは公的労災保険の適用となっていますが、日本ではまだ医療機器として認められていません。医療用も福祉用も全体的な形は似ていますが、基本のフレームなどの形状が違います。医療用は、福祉用に比べもっと丈夫にできています。福祉用は軽さなどの使いやすさを重視して便利に、医療用ではより安全性を優先しています。

—医療者、介護者の側から現場が変わったという実感はありますか？

大野 介護の分野は人手不足が大きな問題となっています。この問題に対し、永寿福祉会の

ように、スタッフの身体的な負担を考えて HAL 腰タイプを導入される施設も増えてきています。今後、HAL 腰タイプを装着し腰の負荷が低減することで、50 代、60 代といった方でも安心して介護スタッフとして活躍でき、慢性的な人手不足の解消に繋がるのではないかと考えられています。また、在宅にて老々介護で悩んでいる方々へ個人レンタルが出来れば、在宅生活の幅が広がるものと考えます。今後の医療・介護分野に対し何より夢がありますよね。患者さんに本当に喜んでもらえる。それが私達の喜びであり大阪医大サービスの役割と考えています。

—これまでお話をお聞きして、早く廉価になり家庭に一台という時代が来てほしいと感じました。

大野 医療の分野では、ドイツでは労災保険で認められて保険適用されており、日本でも早く



HAL 腰タイプ ©Prof. Sankai, University of Tsukuba / CYBERDYNE Inc.

そういう方向に進んで行くことを期待しております。介護の分野では、多くの方々にご利用頂きレンタル料がもっと安価になり、一家に一台きレンタル料がもっと安価になり、一家に一台という時代が待ち遠しいです。

—そうなるにあっという間に広がりそうですね。

國澤 制度が整備されれば、もっと広がるでしょう。HAL 腰タイプを効果的に用いれば、労災の軽減にも繋がるので企業メリットもありますし、医療費の削減にも繋がると考えております。

大野 本当にそうですね。CYBERDYNE 社は、多くの方々にご利用頂く考えで、アメリカでも展開を考えていると話をお聞きしています。

國澤 かなりの所で山海先生およびCYBERDYNE 社は引っ張りだこのようです。CYBERDYNE 社は、1 年半前くらいにマザーズで上場され、公募金額が 3,700 円に対し株式公開日には 10,010 円にまでなったそうです。山海先生が大株主で、米国経済雑誌フォーブスでもランキングされるほどの資産家ですが、先生は営利追求をせず公益のためにやるというお考えで売却などされなかったと伺っています。また、軍事機器を作っている所からも、是非特許を譲って欲しいと打診があったそうですが、人類の福祉のためにしか使わないとのお考えでお断りになられたと伺っています。

大野 現在、福島県の郡山市と連携して地域ぐるみで生産工場を作るといことをされています。

國澤 最近では、羽田空港の向かい側にも土地を取得されたそうです。

大野 つくば、福島、羽田を拠点として、全国はもちろん世界をも視野に入れての戦略という事です。

—普及が進むことを願っています。今後、HAL を軸にした展望や目標をお教えいただけますか

國澤 大阪医科大学の子会社としても理念を共有しながら、その範囲内でロボットスーツ事業をやって参ります。大学は、教育、研究、臨床が目的であって、それ以外の事業は子会社でやるのが一番良いのではないのでしょうか。

中長期的には、ロボットスーツ事業を最大限活用して広報にも力を入れて参ります。且つ実践面では本当に笑顔を出して健康になって頂くということをやっていききたい。笑顔と健康ですね。生きている間は健康であって頂きたい。そのために HAL を活用していききたいと思っております。

大野 大学だけの活動でしたら医療に限られますが、大阪医大サービスが活動することで、介護の分野や作業の分野にも広がる可能性があります。腰タイプは、将来一家に一台ですからね。

國澤 国や県、市町村がこういうものに理解を示していけるようにするのが目標です。学内の話をする、大阪医大サービスで得た利益を寄付して、大阪医大に入院している人々に無料で使ってもらえる事も出来ると考えております。そして繰り返しになりますけれども、地域社会に広げていきたい。家庭で家電のように当たり前置いてある時代が来れば本当に良いですよ。

大野 山海先生が講演で良くお話しされている『重介護ゼロ社会』ですね。

—最後に仁泉会の先生方に向けてのひと言をお



永寿ロボリハセンター開所式の様子。左から國澤隆雄先生、山海嘉之先生（CYBERDYNE 社）、富永徳吉理事長（永寿福祉会）

願います

國澤 大阪医科大学のミッションというのは、人類の医療・福祉に寄与する事です。卒業された多くの先生方は、そのようなミッションを達成するために日々診療されておられると思います。是非、地域社会の医療・福祉の向上ために、HAL を活用して頂ければ有り難いと思っております。

大野 HAL を用いることで、医療、介護、産業分野が大きく変わる可能性があると考えております。とりわけ、リハビリについては新たな時代の到来を感じています。まずは、一度 HAL を体験頂けたらと考えております。

—本日はお忙しい中ありがとうございました。

EVENT INFORMATION

ロボットスーツ「HAL」体験会

日時：11 月 28 日（土）

13：30～16：30

場所：大阪医科大学 管理棟（予定）

申込先：大阪医大サービス

072-684-6877 担当：元持

実際に「HAL」に触れることができる機会です。多くの仁泉会の先生方のご参加をお待ちしております。

ロボットスーツ「HAL」に関してのお問い合わせ

大阪医大サービス

TEL 072-684-6877 担当：元持

永寿ケアセンター

TEL 06-6760-0710 担当：石井

永寿ケアセンター 施設長 石田雅俊先生 (学 20 期)

大阪府の保健所長を務めておりましたが、最後に社会へ恩返しをと思い永寿ケアセンターに
おります。大学の植木理事長には学生時代から
ご指導を頂いた直弟子になります。仁泉会の河



野理事長とは大阪府の産業医連携や 1 期下の気
安さもあり日頃から交流を持っております。

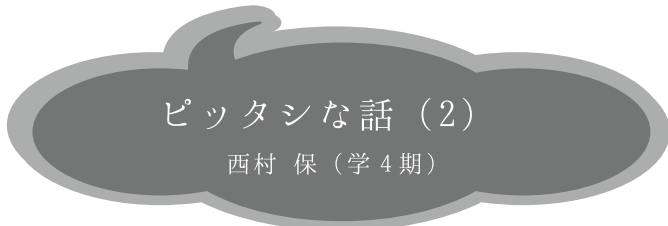
HAL については、以前から情報を得ており、
平成 23 年から下肢タイプをレンタルしていま
す。その発信の拠点として永寿ケアセンターに
新たにロボットリハビリセンターが設置された
事に期待をしております。しかしながら施設の
立地的な制約や利用者のコスト負担、域外利用
者のアフターケアなど現実的な課題もありま
す。

超高齢化社会を迎え、待機者が増えつつある
今、地域包括医療での在宅介護に国の重点が置
かれております。HAL だけでなく様々な知恵
を出し、地域の皆さんがより良い人生を送れる
ようこれからも尽力して参ります。



永寿会取材時に単関節タイプを使ったりハビリをされていた利用者の方。
この日が初めての使用日だったそうで、7 月ごろから導入をお待ちになられていたとか。
ほぼ曲がらなかつた肘の関節が随分スムーズに動かさせていて、利用者の方はもちろん
スタッフさんもとて嬉しそうだったのが印象的でした。

エッセイ



ピッタシな話 (2)

西村 保 (学 4 期)



もともと日本の固有の詩は五音と七音の繰り
返しであったが、その後五七五七七音の短歌が
主流となった。江戸時代に入ると更に短くなり
五七五音で結ぶ俳句が登場した。そして元禄時
代に松尾芭蕉が登場し優美で主情的な俳風を樹
立し俳聖と称された。

芭蕉の代表作

古池や 蛙とびこむ 水の音
松島や ああ松島や 松島や
閑けさや 岩にしみいる 蟬の声
夏草や つわものどもの 夢の跡
五月雨を 集めて早し 最上川
荒海や 佐渡に横たふ 天の川

辞世の句

旅に病み 夢は枯野を 駆け巡る
(死因は食中毒だったと云われている)

明治になって正岡子規は芭蕉の業績を認めつ
つも芭蕉の句は説明的、散文的で詩としての純
粋性を欠いていると論じ、事物の簡潔な描写が、
表現として大きな効果をあげるとして「写生」
の重要性を説いた。

こうして子規の俳句は写実的で簡潔なスタイ
ルを持つようになった。

子規の代表作

柿食えば 鐘が鳴るなり 法隆寺
柿食うも 今年ばかりと 思ひけり
母親に 夏やせかくす 団扇かな

松山や 秋より高し 天守閣
年玉を 並べて置くや 枕元

辞世の句

痰一斗 糸瓜の水も 間にあわず
(子規は肺結核を患っていたが、当時は糸瓜
の水が痰の喀出によいとされていた)

この子規が弟子に俳句の作り方を尋ねられた
時、「根岸の里の 侘住ひ」に季語をのせればそ
のまま俳句になると教えた。明治時代までの根
岸は鶯の名所として知られ文人墨客が大勢住ん
でいたので自然に文芸的な雰囲気があったので
ある。当時、子規は根岸に寓居を構え「子規庵」
と称していた。

雪つむや 根岸の里の 侘住ひ
梅一輪 根岸の里の 侘住ひ
桜散る 根岸の里の 侘住ひ
さみだる 根岸の里の 侘住ひ
蛩とぶ 根岸の里の 侘住ひ
夜の長し 根岸の里の 侘住ひ
木枯しや 根岸の里の 侘住ひ
去年今年 根岸の里の 侘住ひ

成程。ピッタシですね。

リレーエッセイ

ずっとお世話になっております
片岡晃哉 (学 26 期)



に大変お世話になりました。

現在は大阪市北区でペインクリニック外来をしています。大阪市北区医師会の卒後研修担当理事と大阪府医師会の卒後研修委員もさせていただいています。大阪市北区には3つの研修指定病院(北野病院、済生会中津病院、住友病院)があり、北野病院、住友病院は私の診療所にも年に計4名の研修医が地域医療研修として来られます。彼らは優秀で、医師になったころの私と比べると知識の質・量とも感心させられる事が多いですが、話を聞くと多忙で運動をする時間はあまりないようです。私は臨床医にとって必要なことは一にも二にも体力と後輩に言ってきましたが、ある時先輩、後輩共に「一は忍耐力でしょう」と言われ、言われてみればそうだなあと感じる今日この頃です。

日本の医療は大きく変わるかもしれない時期を迎えており、私もあと何年頑張れるかわかりませんが、これからの医療の主役になるであろう若い医師達の為に少しでも役に立てたらと思っています。幸い大阪市北区医師会では前々医師会長の末澤慶昭先生(学19期)、前会長の古林光一先生(学21期)にととてもお世話になり、他にも大阪医大出身者が多く良い環境で仕事ができ感謝しています。まさに、お世話になりっぱなしの人生です。ちなみに、医師会の仕事をさせていただくまでは、医師会がこんなにまじめに地域住民の医療や健康のことを考えているとは思っていませんでした(ごめんなさい)。

次は大阪医大ラグビー部OB会会長で大阪市北区医師会副会長でもある本出肇先生(学34期)にバトンをお渡します。

前回の千福貞弘先生(学32期)よりリレーを受け継いだ学26期の片岡です。

千福先生が麻酔科をローテートしていた頃、世は激写ブームで、私も連写ができる一眼レフカメラで気管内挿管に必死になっている手術室の研修医の姿をニコニコしながらバシャバシャ撮っていました。そういう時の彼らは皆いい顔をしています。

私は中学からラグビーをしていた事もあり、入学時からラグビー部以外に選択肢はありませんでした。入学試験の口頭試問で「君は中学・高校とラグビーをしていたんだね」と訊かれたのを今でも覚えています。その当時、ラグビー部部長の塚本教授(故人)には下鴨の自宅にも呼んでいただきお世話になりました。勉強はといえば全くダメで、東北大の教授になった金塚君やプライマリーケアで有名な木戸君(東淀川区で開業)ら同期には優秀な友人が多く、ベッドサイドティーチングではいつも彼らの後ろに隠れるようにしていました。

卒業後は麻酔科に入局しました。その当時、麻酔科の認知度は低く、中小規模の病院では各科麻酔が主流でした。大阪医大麻酔科はペインクリニックが有名で、東の若杉(現在のNTT関東病院)、西の兵頭(当院)と言われておりました。兵頭教授(故人)には失敗を恐れずに何でも自由にやらせていただき本当にお世話になりました。その後、縁あって藤田保健衛生大学の第4病院(全科リハビリテーション)開設にあたり大阪医大より赴任しました。ここでもリハビリテーション科の土肥信之教授(故人)

まんが

怖い写真

東京ぼん太(学31期)



役員交代

〔箕面支部長〕

前支部長 澄川 司先生 (学32期)



新支部長 須磨升美先生 (学44期)

編集部より

会費納入のお願い

年会費
平成27年度 10,000円、平成26年度 10,000円
平成25年度 10,000円
納入のご協力をよろしくお願い致します。

事務局 会計係

原稿募集のお知らせ

仁泉会ニュースの原稿を募集しております。日々の診療で感じられた事、研究報告、趣味のお話やクラス会や支部会のご報告なんでも結構です。

ご投稿お待ちしております。

●47巻1号(平成28年1月1日発行)

締切 平成27年11月末日

●47巻2号(平成28年3月1日発行)

締切 平成28年1月末日

●送付先:仁泉会事務局 〒569-8686 高槻市大学町2-7

E-mail: jimuj@jinsenkai.net FAX: 072-682-6636

写真募集のお知らせ

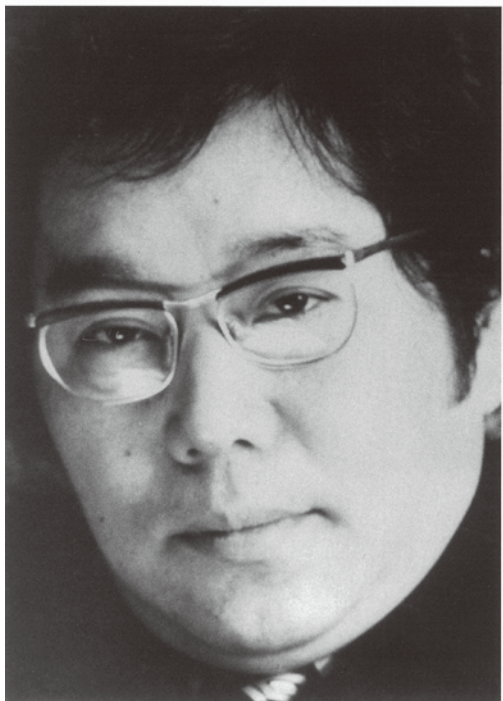
上記「原稿募集」同様、誌面を彩るお写真も新たに募集します。季節の風景、お住まいの地域の情緒ある街並みなどをお送りください。なお、掲載時期及び掲載の有無に関してはご一任くださいますようお願い致します。

会 員 著 書

医者もつらいよ

Part-5 釣乞食

西川雄之助



YUNOSUKE NISHIKAWA

海 銀 河

「医者もつらいよ part5～釣乞食」

西川雄之助（学 8 期）／著

出版社／海銀河

価格／¥1,400+税

新 聞 切 抜

推薦の多かった「腕のいい外科医」リスト

大腸がん	奥田準二	大阪医科大学附属病院がんセンター 先端医療開発部門（消化器外科）特務教授	大阪府高槻市大学町 2-7 ☎ 072-683-1221	腹腔鏡下手術のバイオニアの一人。年間 500 件以上の手術のうち 6 割が難易度の高い直腸がん。より質の高い手術を目指し、立体視できる 3D 腹腔鏡に取り組む。
	竹政伊知朗	大阪大学医学部附属病院 消化器外科（下部消化管、肝、胆）診療局長	大阪府吹田市山田丘 2-15 ☎ 06-6879-5111	大腸がんの腹腔鏡下手術を担う次代のリーダーの一人。単孔式手術からロボット手術まで高い技術と豊富な経験を武器に、最良の低侵襲治療法を提案する。

腹腔鏡下手術を受けるなら、日本内視鏡外科学会の技術認定を取得しているかどうか、医師を選ぶ一つの目安となるだろう。ただし千葉では、死亡事例の執行医はこの資格を取得していた。大阪医科大学附属病院の奥田準二医師（大腸がん）は、技術認定はプロとして基本に過ぎないと語る。「技術認定は、車の免許と同じで、さらに修練を積み重ねなければ、クオリティの高い手術はできません。たとえば直腸がんの手術は、狭い骨盤内の操作となるため、がんを残さず、周囲の血管や神経を傷つけず、できるだけ肛門温存するには熟練の技が必要です。未熟な腹腔鏡下手術では、合併症や再発の頻度が高くなり、適切なりカバリもできなくなります。やはり最初から妥協しないで、医師選びをすることが大切です」

★★★平成 27 年 8 月 13 日・20 日発行の週刊文春の「推薦の多かった腕のいい外科医リスト」大腸がん部門に奥田準二先生（学 33 期）と竹政伊知朗先生（学 42 期）のお名前が掲載されました。記事インタビュー内の奥田先生のコメントとともにご紹介いたします。★★★

本 部 だ よ り

会 員 訃 報

次の会員が亡くなりました。慎んでご冥福をお祈り致します。

事務局編集係

高医 13 期 内藤景士先生

平成 27 年 7 月 26 日肺炎の為ご逝去（99 歳）。昭和 18 年卒。

大阪市西区にて内藤病院を開設されました。大阪市西区医師会長、日本私立病院協会副会長、特定医療法人仁生会内藤病院前理事長をお務めになり、地域医療に貢献されました。勲五等瑞宝章、紺授褒章を受章されておられます。

ご遺族 長男 一馬様

高医 15 期 大垣政男先生

平成 27 年 8 月 19 日腎不全の為ご逝去（92 歳）。昭和 20 年卒。

青森県三戸郡にて内科をご開業になり、ながきに亘り地域医療を支えてられました。

ご遺族 妻 和子様

高医 16 期 森日出男先生

平成 27 年 4 月 7 日癌の為ご逝去（90 歳）。

昭和 22 年卒。

卒業後国立京都病院眼科に勤務されました。藤田保健衛生大学では医師育成にお力を注がれ、名誉教授になられました。

ご遺族 長男 和明様

高医 19 期 浜崎謙一先生

平成 27 年 8 月 25 日急性肺炎の為ご逝去（92 歳）。昭和 25 年卒。

大阪市立大学、大阪大学耳鼻咽喉科教室での勤務を経て、大阪市旭区にて開業され、平成 10 年 4 月に閉院なさるまでの約 43 年間地域医療の為に力を尽くされました。

ご遺族 妻 恵美子様

高医 20 期 岡野 勤先生

平成 25 年 6 月 24 日心不全の為ご逝去（88 歳）。昭和 26 年卒。

豊中市にて小児科をご開業になり、地域医療に携わってられました。

ご遺族 長男 智英様

高医 20 期 横山一彦先生

平成 27 年 5 月 2 日肺炎の為ご逝去（89 歳）。

昭和 26 年卒。

昭和 27 年より和歌山県立医大にて助手として勤務の後、昭和 36 年に横山内科を開業されました。平成 11 年には社会福祉法人「紀伊松風苑」理事長にご就任になり、地域医療に尽くされました。「40 代で心臓を悪くした父の為に早く一緒に働きたいと医学を志し、医師としての 1 歩を踏み出せることになったその日に誰よりも喜んでくれた父の笑顔を忘れることはありません。」とのご長男様のお言葉です。

ご遺族 長男 申彦様

学部 2 期 大橋規男先生

平成 27 年 7 月 18 日肺癌の為ご逝去（85 歳）。昭和 28 年卒。

卒業後整形外科に入局され、助手講師としてお勤めになられた後、昭和 49 年に大橋整形外科医院を開業されました。大阪臨床整形外科医会理事・会長、日本整形外科学会評議員をお務めになるなど地域医療に貢献されました。

ご遺族 妻 和子様

学部 4 期 河野義博先生

平成 26 年 12 月 15 日老衰の為ご逝去（84 歳）。昭和 30 年卒。

昭和 32 年に京都大学医学部解剖学教室に助手として入局され、昭和 34 年に学位を取得されました。同年より金沢市内田病院にて、昭和 36 年より大阪市東淀川区岡井病院にてご勤務の後、昭和 49 年 12 月に川西市にて産婦人科をご開業になり、平成 16 年 12 月に閉院されるまでの 30 年間地域医療に尽力されました。

ご遺族 妻 友子様

学部 7 期 津田孝憲先生

平成 27 年 1 月 15 日急性肺炎の為ご逝去（83 歳）。昭和 33 年卒。

卒業後小児科へ入局されました。昭和 40 年に
 医院継承の為、福井県越前市へ帰郷され、内科・
 小児科をご開業になりました。平成 21 年に糖
 尿病、心筋梗塞などの体調不良の為閉院され
 るまで 40 年以上のながきに亘り地域医療を支
 えられました。

ご遺族 妻 まさゑ様

学部 11 期 鈴木 哲先生

平成 27 年 8 月 23 日胃癌の為ご逝去 (79 歳)。
 昭和 37 年卒。

高槻市にて鈴木耳鼻咽喉科をご開業になり地
 域医療に携わってこられました。仁泉会評議
 員としても会務運営にご尽力いただきました。

ご遺族 妻 弘子様

学部 28 期 熊谷直樹先生

平成 27 年 8 月 5 日大腸癌肝転移の為ご逝去
 (65 歳)。昭和 54 年卒。

昭和 56 年に済生会茨木病院にて内科医とし
 て勤務されました。昭和 57 年より兵庫県立尼崎
 病院、昭和 61 年より北摂病院でのご勤務を経て、
 平成 3 年に茨木市にて熊谷内科クリニックを開
 設され、地域医療に貢献されました。

ご遺族 妻 万里様

学部 30 期 山田恭造先生

平成 27 年 8 月 16 日大腸癌の為ご逝去 (60 歳)。
 昭和 56 年卒。

母校脳神経外科でのご勤務を経て滋賀県彦根
 市にて山田クリニックを開業されました。仁
 泉会評議員としても会務運営にご尽力いた
 だきました。

ご遺族 妻 泉様



編集部より

編集後記

ロボットスーツ「HAL」の記事を掲載
 しました。テレビで見たことがあったので
 すが、母校が取り組んでいることは知りま
 せませんでした。

少し話が変わりますが、慶応大学などが
 医師国試を解答する人工知能を開発してい
 ます。正答率は 4 割とのこと。大量の
 データを入れているようですが、まだ合格
 ラインではありません。データ量を増やせ
 ば合格できるだろうと開発側はみていま
 す。電子カルテ情報から診断支援システム
 への応用も期待されています。しかし正答
 率が 4 割では、まだまだ人間のほうが勝っ
 ているともいえます。人間の能力(脳力)
 はたいしたもの。われわれも人工知能
 に追い越されないよう、せっせとデータを
 蓄え、応用力を養ってゆかねばなりません。
 小筆のようなものには診断支援システムは
 魅力的ですが。

(治)

募集します

テレビ、ラジオ、新聞などの
 メディアにご掲載になられた
 会員諸先生方がおられましたら
 掲載された原本を同封のうえ、
 事務局までお送りください。
 (自薦・他薦は問いません)

お詫びと訂正

平成 27 年 9 月 1 日発行仁泉会ニュース第 46 巻第 5 号
 「受賞報告」(14 頁)に掲載いたしましたお写真を
 大森英夫先生と横山光昭先生としてご紹介いたし
 ましたが、横山先生ではありませんでした。

誌面をお借りしてお詫び申し上げますとともに
 横山先生のお写真を掲載させていただきます。



横山光昭先生(学 19 期)

受章・受賞記事募集

各地で喜びの受章・受賞などがあれば、事務局宛書面、新聞等をお送りくださるか、
 原稿をお届けください。本誌にて広く紹介させていただきます。

仁泉会事務局 TEL / 072-682-6166 FAX / 072-682-6636
 e-mail / jimu@jinsenkai.net

平成 28 年度 学 14 期 (36 会) 同窓会のお知らせ

卒後 50 周年記念のクラス会が 5 月 16 日、17 日にかけて 28 名の参加のもと京都で盛大に開催されました。
 来年(平成 28 年度)は、有澤 基先生、吉田繁一先生、福永 晶先生の幹事で兵庫県で開催されることになり、
 早速幹事の有澤先生の計らいで、下記のように決まりました。

風光明媚な素晴らしい眺望を生かしたシーサイドリゾートで寛いでいただきたく、36 会の皆様方には
 万障繰り合わせて出席していただきますよう予定しておいて下さい。

記

日時：平成 28 年 5 月 14 日(土) 15 日(日)
 場所：海と風と緑に包まれるシーサイドリゾートホテル
 「舞子ピラ神戸」
 15 日(日)：観光組 / 舟を利用した明石海峡クルーズ
 ゴルフ組 / 歴史と伝統がある垂水ゴルフ倶楽部



ハードルをジャンプ!!

地元で 50年

薬袋・診察券・カルテなどの
医療印刷

タツミ印刷株式会社

お気軽にご相談下さい。

池田・高槻
tel: **072-761-8434**

大満足必至のサービスです!

医局の打ち上げ、親睦会、同窓会などにお役立てください

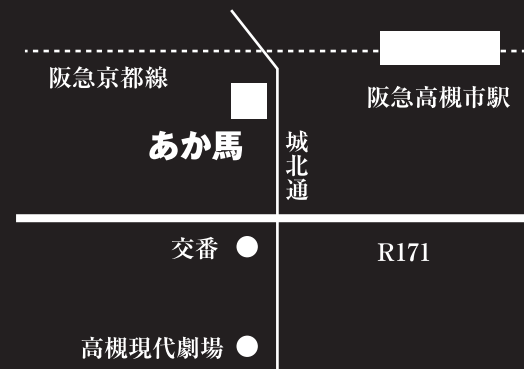
大阪医大関係者様のみのサービスです!

1名様～ ワンドリンクサービス

5名様～ 本マグロの頭オープン焼きサービス

10名様～ 大鯛の塩包み焼きサービス

※5名様～はご予約下さい
※他サービスとの併用はできません



四季馳走 **あか馬**

高槻市城北町 1-2-4

夜の営業時間 (月曜定休) / 17:00~23:00LO

昼の営業時間 (月・土・日定休) / 11:30~14:00LO

※1F 30名まで、2F 45名まで貸切できます!

050-5570-1260 (予約専用番号)

072-671-5056 (お問い合わせ専用番号)

※ご予約の際に仁泉会ニュースを見たとお伝え下さい。

tenant infomation

医療テナント募集のご案内



場所：東大阪市加納 6 丁目 14 番

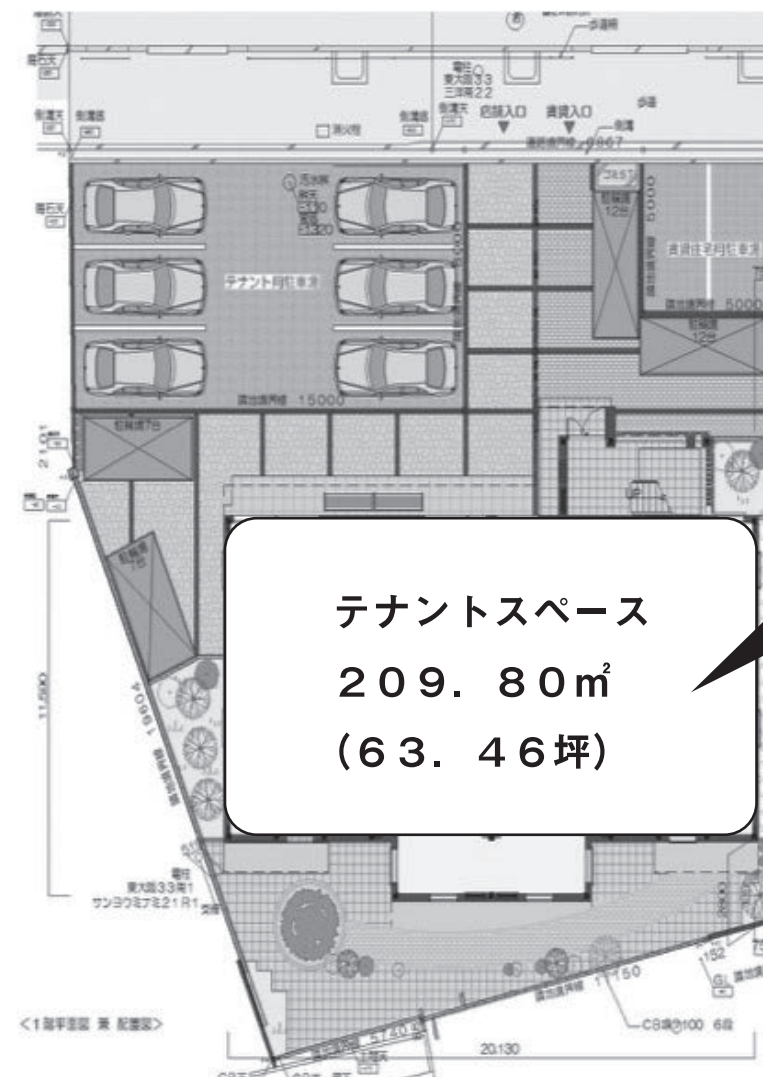
J R 片町線 住道駅

南へ徒歩 11 分

物件：新築物件 1 階部分

平成 29 年 3 月末完成予定

☆賃料など詳しくは
お問い合わせ下さい



様々な科目に対応可能!
調剤薬局とあわせてどうぞ!

お問い合わせ先：
旭化成ホームズ株式会社
担当鎌田まで
06-6376-3400